

住みよい街づくり、なごみある三重県を目指して

# 和

NA・GO・MI

み

2004.01 創刊号

前野かずみ県政レポート

発行 平成16年1月  
発行者 三重県議会議員 前野和美  
編集 和み会(なごみ)  
〒514-1105 三重県久居市北口町字北口438-31  
TEL 059-254-6605 FAX 059-254-6606



## ごあいさつ

昨年四月、久居市民の皆様方の温かいご支援をいただき、三重県議会議員として活躍できる場を与えていただきました。

市民の皆さんの声を聞き、いろいろな現場を見て歩く活動を精力的に行っております。

十二月議会では、初めての一般質問の機会が与えられ、三重県地域防災計画の震災対策編と高等学校の目的について質問をし、県民の皆様幸せと安心安全の街づくり、県土づくりに取り組んでいく県の姿勢を正しました。今後も機会あるごとに、4万市民の皆様、そして県民の皆様代表として、県政の場に皆様声を届けるべく頑張っております。

最大多数の最大幸福が政治の目的であることを常に忘れず、地方自治発展のため一段の研鑽と精進努力していく覚悟でございます。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

前野かずみ

支援者  
だより



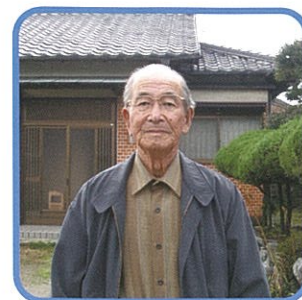
久居市市長 池田幸一さん  
久居市発展と県政発展のため  
ご尽力ください。



久居市議会 議長 辻美津子さん  
期待しております。



久居市野村町 横井あい子さん  
当選の感激を忘れず地域社会に  
根をはった活動をして下さい。



久居市元町 海津恵一さん  
一年生議員として大変多忙と思いますが  
市民の代表としてがんばってください。



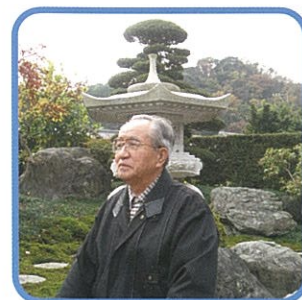
久居市新家町 山崎美好さん  
農業の味方となる議員を  
目指してがんばってください。



久居市稲葉町 稲葉とみさん  
若さとパワーで市民に愛され信頼される  
議員としてがんばってください。



久居市木造町 飯田和夫さん  
地元久居市民福祉の向上と  
地元活性化に努力される最適の議員で  
あり大きな活躍をされますように



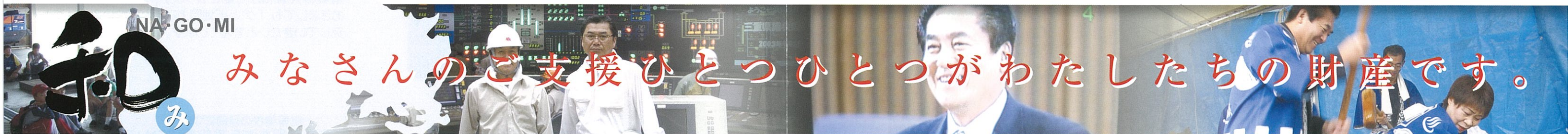
久居市榊原町 川合孝一さん  
榊原温泉振興に大きく寄与する  
道路網の整備と温泉振興の拠点施設等の  
建設を是非実現していただきたい。



久居市榊原町 杉本みゆきさん  
三重県民のため健康でがんばってください。



久居市稲葉町 山川巖さん  
元気になる農業、明るい農村を  
めざして我らの先頭になって  
がんばってください。



久居市新町 上杉幸子さん  
安心して生活の出来る三重県  
治安と医療の充実をお願いします。



久居市戸木町 中野桂子さん  
応援していま～す  
若者に夢と希望のある活動を！



久居市榊原町 前田清一さん  
市民に愛される政治を目指して  
がんばってください。



久居市本町 荒井玲子さん  
素晴らしい三重県のために  
ご尽力をお願いします。



久居市万町 前川なおりさん  
元気で活躍して下さい  
応援していま～す。



久居市新家町 まへのさつきちゃん  
がんばって～



久居市相川町(ととて事務局) 米山由美子さん  
石川久仁子さん・西尾由利子さん  
子供たちのための活動に  
ご支援よろしくお願致します。



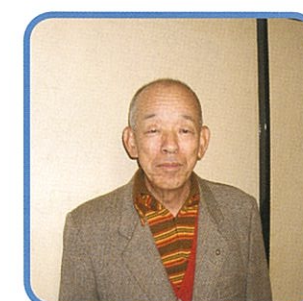
久居市小野辺町 松本かおるさん  
各方面の方々の意見を聴いて  
若さとパワーでがんばってください。



久居市戸木町 近藤正彦さん  
初心を忘れずがんばってください。



久居市一色町 鈴木とし子さん  
市民のためにがんばって  
活躍してください。



久居市幸町 冨永勝次さん  
地元久居市のためにがんばって下さい。

## 三重県地域防災計画の震災対策編について

**Q** 三重県の震災対策について、どのように考えているのか取り組みが遅れているのではないかと？

**A** 地震対策は、喫緊の課題として取り組み、県民一人ひとりが、自ら防災対策を実施していただく「自助」、地域が連携し、地域の安全を守る「共助」、これを行政が支援する「公助」という役割を明確にし、市町村はもとより、地域や県民と一体となって進め、地震災害に強い県土みえを目指します。



## 高等学校の目的について 生徒数の減少による統廃合について

**Q** 生徒数の減少による県立の統廃合について今後の見通しを伺いたい、また、小規模校についてできる限り地域の高校として存続させるべきと考えるが、どうか？

**A** 小児化現象を踏まえ、適正規模を1学年3学級から8学級として、1学年10学級以上の大規模校をなくし、小規模校では多様な選択科目が設置できない、生徒の希望するクラブ活動が満足にできない、現状を踏まえ1学年2学級以下の学校は統廃合又は校舎制を進め、活性化の具体的な方策について検討しているところです。

## 本県の地形、地質及び地盤の状況分析について

**Q** 東海、東南海、南海地震の被害想定について、地盤の液状化危険度や、地震動、津波等による建物被害状況を自治会単位くらいまで出せないか？

**A** 本年、国から東海、東南海、南海地震の被害想定が公表されたことを受け、被害想定の見直しを行い、よりきめ細かな町丁字単位で、揺れや津波による被害予測を取りまとめ、これをホームページ等を活用して県民に直接情報提供していきます。

## 災害応急対策について

**Q** 災害対策本部による早期の災害状況の把握と応急対策のため、関係機関が共通して活用できるグリッド地図の導入を考えられないか？

**A** ご提案にありました「グリッド地図」につきましては、東西及び南北の格子状の座標軸の交点を6桁の数字で読み取ることにより、客観的な位置情報の共有化が可能となります。今後、本県におきましても、「グリッド地図」の導入について研究していきたいと考えています。

## 高等学校の目的について 中途退学者を減らす施策について

**Q** 高校の中途退学者を減らすため、入学後、生徒の希望が変わった場合、目的にあった高校に移れる制度として転学や転科ができないか？

**A** 中途退学の理由としては、「その学校になじめない」という生徒が50%を占めています。本人の学習意欲に沿って、円滑に学科の転科や転校ができるように検討します。さらに中途退学した生徒が再び学びたくなった時に、元の学校に戻るための復校制度や、中途退学者を対象とした入学者選抜などについても検討します。

## 編集後記

県会議員のスタートを切って早や9ヶ月、毎日毎日が勉強の日々でした。

県政レポート創刊号がやっと完成し笑読して頂ければ幸せです。

タイトルは前野和美(かずみ)の和美から「なごみ」と名付け、わが街三重県が少しでもなごめる住みよい街になるように「和み」と書くようにしました。

この「和み」をみなさまとのコミュニケーションの窓口となるように目指し取り組んでいきます。

何卒、未永くご愛読をお願いいたします。